合縁～あいえん～

6月

発行日　2023年　6月　1日
発行元　敬老園サンテール千葉
TEL　043-226-7500　　第15号

合縁とは愛から来る人と人との縁を表す言葉です。私たち介護職員と皆様の縁が恩愛に満ちたものであるように願いをこめて

「紫陽花」と書いてなぜ「あじさい」と読むのでしょう？

昔からの発音は「あづさヰ」でした。「あづ」は小さいものが集まる様子を指しており、「さヰ」は「真藍（さあい）＝青」を意味しています。つまり「青い小花が集まって咲いている花」を意味しており、見た目に当てはまる名前であるといえます。「紫陽花」となったのは源順（みなもとのしたごう）という歌人兼学者が唄で読んだのがきっかけと言います。中国の歌人である「白楽天」の歌にある「紫陽花」を日本のガクアジサイと勘違いしたようです。

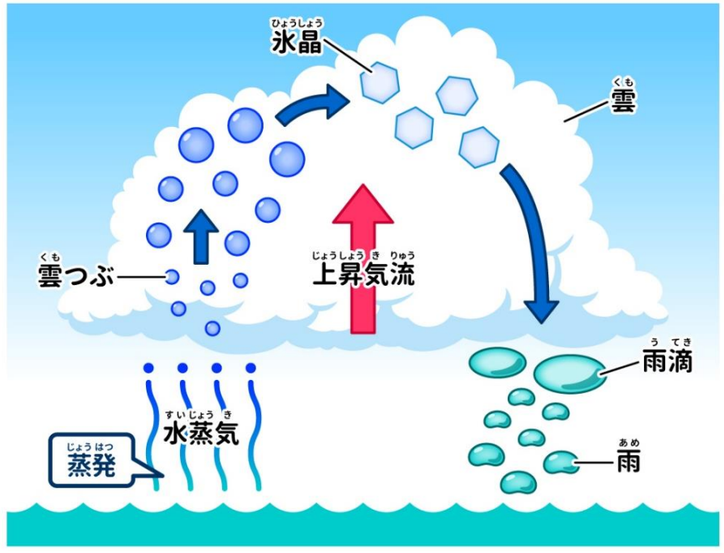
ガクアジサイは

西洋紫陽花は

分かりづらいですが花が密集して咲いているのが西洋紫陽花です。

～6月といえば…雨のお話～

ふわふわと空に浮かぶ雲は、「雲つぶ」と呼ばれる水滴や「氷晶」と呼ばれる氷の結晶でできています。これらが大きく重くなって空から落ちてきたものが、雨や雪なのです。まず地面から蒸発した水分が上へ向かう大気の流れ「上昇気流」に乗って温度の低い場所までたどり着くと、上空の冷たい空気に冷やされて雲つぶができます。地球上ではあらゆる場所で上昇気流が発生していて雲つぶが集まって発生した雲は上昇気流に吹き上げられて空に浮かんでいます。雲の中では雲つぶが上昇気流によって上へと向かい、周りの水蒸気を取り込みながら成長していきます。雲つぶの半径は0.001～0.01ｍｍですが、上昇するにつれて大きく重くなりやがて半径0.1ｍｍ位になります。すると上昇気流では支えられなくなり雲から地上に向かって落下するのです。それが雨ということです。



いつも机の端っこに座っているウサギです

梅雨なので…

紫陽花とカエル

そしてかたつむり

健　康　情　報

６月になると雨が多くなってきます。季節の変わり目であり気温も徐々に上がってきます。ジメジメした日々が続くと…　カビ菌が元気になるんですね～💦カビは、喘息やアレルギー症状の引き金になったり、すでにある症状を悪化させる原因にもなります。カビの種類は少なく見積もって３万種類以上あると言います。家の中でよく見かけるのは「黒カビ」「赤カビ」「青カビ」この３匹が悪さをするのです。ちなみにお風呂場でよく見かけるピンクの色の汚れは、カビではなく「ロドトルラ」という酵母菌の一種です。

カビによって引き起こされる健康被害は喘息だけではありません。夏になると、咳や熱が出て風邪のような症状が現れる夏型過敏性肺炎は、トリコスポロンというカビを吸い込むことで発症します。「トリコスポロン」は古い家屋で湿気が多く、日当たりや風通しが悪い場所で発育します。 白っぽい色をしたカビで、古くなった木材を好みます。 室内だと台所のシンク下や浴室などの水回り、カーペットや畳の裏などが発生源となることが多いようです。

入浴後、アルコールの除菌スプレーを吹きかけるとカビの繁殖を抑えることができます。

水回りと言われる場所です。湿気と汚れが多い場所はカビにとって繁殖しやすく住みやすい場所です。なるべくこまめにお掃除してこの子たちを追い出しましょう

カビ・ホコリ・ダニの密接な関係

ホコリの中には、カビやダニが潜んでいます。ホコリは衣類や布団、布製品から出た繊維のくずの他髪の毛皮膚のアカなどが寄せ集まってできています。これらはすべてカビの栄養源となります。ダニもホコリがたまる場所には必ずいます。ホコリの中に含まれる人のフケやアカなどが餌となるほか、カビを餌にするダニもいるため、ホコリが多ければ多いほどダニは繁殖しやすくなります。カビの発生を防ぐにはホコリ対策を行うことも重要です。布団やカーペット、カーテンなど布製品のある場所や部屋の隅などホコリが溜まりやすい場所の掃除も十分に行いましょう。また部屋中のホコリがつきやすいエアコンのフィルターもこまめに掃除をしましょう。